

調達管理番号・案件名

24a00861_パプアニューギニア国東ニューブリテン州におけるSHEPアプローチを活用した持続可能な複合農業実施能力向上プロジェクト

質問と回答は以下のとおりです。

2026年2月16日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	0	JCCについて	JCCはの開催地はポートモレスビー(POM)あるいは東ニューブリテン島(ENBP)になりますでしょうか？	JCCの開催は東ニューブリテン州を予定しています。
2	0	研修について	研修用の会場は準備してもらえるのでしょうか？	会場はC/P側で用意される予定ですが、提供されない場合を想定し、以下を平均的な金額として算出してください。 対象地域の市内:400キナ/日 市外:200キナ/日
3	0	日当宿泊および国内交通費について	2026年は、C/Pの業務にかかる日当宿泊はプロジェクトが負担するのでしょうか。負担する場合は単価を教えてください。また、日本人専門家およびC/PのPOM-ラバウル-ラ工等の航空券を含む国内交通費もプロジェクト負担となるのでしょうか？	C/Pの業務に係る日当宿泊はカウンターパート機関が負担します。POM-ラバウル-ラ工等の航空券についても、PNG側の負担です。
4	0	署名済みR/D	共有いただいた付属資料からは現地政府の予算も限られている現状も推察できます。他方、R/DにおいてはToT参加者や農家研修講師の日当・宿泊費、交通費などについては現地政府も含む関係機関間でのShared costsと整理されております。上記費用について、現実的な費用負担の割合や見積もりの計上方法についてご教示頂けますでしょうか。	ToTの参加者についてはPNG側負担、ToT受講者が研修に講師として参加する場合には日本側が負担することが想定されます。また研修費用関連では質問No.6もご確認ください。
5	0	現地活動	ポミオ地区への渡航や宿泊に制限はあるか？	暴動や災害などが発生しない限り渡航制限はないですが、最新の安全対策措置を渡航前に確認して下さい。また活動上ポミオでの宿泊は想定していません。安全対策上、JICA事務所指定の宿泊先に宿泊する必要があるため、業務上ポミオ地区での宿泊の必要が生じた場合は、JICA事務所に余裕をもって相談してください。
6	0	(配布資料)署名済みRD Annex 1 Project Description (6) Project Inputs (the PNG side and the Japanese side)	The PNG sideの表について、以下の点をご確認させてください。 I. Hire of Venue for trainings について TOTおよび農家研修の会場借り上げ費が生じる場合は、PNG側が負担するという理解でよろしいでしょうか。 V. ToTについて Shared costsとの記載がございしますが、PNG側参加者の交通費・日当・宿泊費はPNG側負担という理解でよろしいでしょうか。 VI. Trainings for farmersについて TrainerについてShared costsとの記載がございしますが、研修参加農家の交通費・昼食費・宿泊費が生じる場合は日本側負担という理解でよろしいでしょうか。	(1)I.はPNG側が負担する予定です。 (2)V.は、PNG側が負担する予定です。 (3)VI.は、研修参加農家の交通費・昼食費・宿泊費が生じる場合は日本側が負担する予定です。 (2)(3)については、質問No.4もご確認ください。
7	2	プレゼンテーション	プレゼンテーションについて「2026年3月4日14時～(予定)又は、行いません。」とありますが、プレゼンテーションの有無が確定する日時を明示していただけますでしょうか？	記載に齟齬があり失礼いたしました。 プレゼンテーションは実施予定で、2026年3月4日14時から開催いたします。

8	3	資料の配布	配布資料にある詳細計画策定調査報告書(2025年10月)に関し、目次に示される「2-4 気候変動に関わる現状と課題」が本文中が見当たりません。もし同セクションがあれば、ご共有をお願いできますと大変幸いです。	「2-4 気候変動に関わる現状と課題」について追加した報告書案(見え消し版)を配布資料として追加いたしますので、edga1@jica.go.jp までメールにてご照会ください。
9	7	P7 具体的な提案を求める内容 「1本プロポーザルで確立されるEco-SHEPについて」 また RD-Annex2の「6「ENB州の状況に適したSHEPアプローチに改良することについて」の 「③ 双方は、基本的なSHEPアプローチの根底にある「心理理論」のなかの特定の側面が、本プロジェクトに適用可能であることを認識した。ただし、「経済理論」の要素はENB州の状況に合わせて調整する必要がある。 ④ ミニッツ協議の際、JICA調査団は、以下に示す「Eco-SHEP」の概念を提案し、双方はそれがプロジェクト現場の状況に適していると確認した」 (概念図省略)	概念図だけでは誤解を生じる可能性があるため、もし、「Eco-SHEPに関する定義」が既に設定されているのであれば、共有して頂けないでしょうか。	Eco-SHEPについてはR/D記載以上の定義は現在できておりません。そのためプロジェクトの中でSHEPアプローチを活用した普及方法を開発しながら、C/P側のSIFSとの融合を検討し、プロジェクト内で「Eco-SHEP」を開発します。
10	8	具体的な提案を求める内容 2「東ニューブリテン州におけるSustainable Integrated Farming Systems (SIFS)の活用について 同州で想定されるSIFSのコンセプトに基づく営農形態を整理し、それらを検証したうえで技術参考資料として取りまとめるプロセスについて提案してください。」	本記述における「営農形態を整理し」の解釈につき、以下の二通りの理解があり得ると考えております。どちらでしょうか。 ①本プロポーザルにおいて、SIFS営農形態の整理結果(想定される類型や方向性)を一定程度提示することも求めている。 あるいは、 ②本プロポーザルでは、①を含めた将来の作業について、SIFS営農形態をどのような手順・方法で整理・検証し、技術参考資料として最終化していくかという方法論・プロセスのみを示すことを求めている。	②の形でのご提案をお願いいたします。
11	10	在外補完研修	在外補完研修は、PNG以外で実施されると理解してよいでしょうか。また、在外補完研修の参加者の渡航に関する手続きのうち費用がかかるものは見積もりに含めるのでしょうか。	在外補完研修はPNG以外で実施予定です。 航空券以外の費用についても定額計上に含まれます。
12	11	第2章【2】2. (7)データの収集	「SHEPデータ標準化検討チーム」で整備されている「標準的なデータ収集方法」とは具体的にどのようなものでしょうか。関連資料や情報等ございましたら共有いただけますでしょうか。また、本案件に関して「SHEPデータ標準化検討チーム」がどのような調査を行うか可能な範囲で教えていただけますと幸いです。	配布資料を追加いたしますので、edga1@jica.go.jp までメールにてご照会ください。 また本案件での調査方針については現在の「調査プロトコル草案」(追加配布資料参照)を参考に、準実験的デザインで分析可能なレベルのデータの収集方法を検討し、NARIと協議の上、最終的に決定します。
13	11	(7)データの収集	現在貴機構内で結成された「SHEPデータ標準化チーム」で整備している「標準的なデータ収集方法」等につき、最新の検討方針や状況は具体的にどのようになっておりますでしょうか。ご教示いただけますと幸いです。	質問No.12をご確認ください
14	11	データの収集	現在JICA内において「SHEPデータ標準化検討チーム」で整備している「標準的なデータ収集方法」について教えていただくことは可能でしょうか。	質問No.12をご確認ください

15	12	2. 本業務にかかる事項 (1)プロジェクトの活動に関する業務 ③ 成果3に関わる活動 ④ 成果4に関わる活動	パプアニューギニアにてJICAが支出負担する研修に適用される日当・宿泊費、旅費交通費の規定額をお教えてください。	原則JICA事務所の出張旅費の規定額を採用しており、日当は90キナ、宿泊費は270キナ、朝食35キナ、夕食60キナ、交通費は(合理的なルート分を)実費精算です。 (※ただし、宿泊費については270キナで安全管理上適当な宿泊先を確保することが困難であるため、事務所長が認める場合は宿泊料の調整(宿泊者が現に支払った額を対象とする精算)も認めています。)
16	13	第4条 2. 本業務に事項 (1)プロジェクトに活動に関する業務 ④成果4に関わる活動	現地研修の想定規模が示されておりますが、活動4-3と活動4-4を合わせた研修の想定規模でしょうか。	4-3と4-4を合せた研修の想定規模です。
17	13	活動2-4	活動2-4は「農家の実践と必要とされる研究分野を特定し、それを記載した文書を作成する。」という意味でしょうか？	ご理解の通りです。
18	13	第4条 2. 本業務にかかる事項 (1)プロジェクトに活動に関する業務 ③ 成果3に関わる活動	TOT研修の開催期間が2日/回というのは通常のSHEP案件に比べて短いかと存じますが、本プロジェクトでは通常の縮小版のSHEPのようなものを想定されているのでしょうか。期間が短い理由があればご教示ください。	あくまで想定ですが対象地域の通常の農業研修(ワークショップ)が1泊2日単位で開催されているため、2日間で設定しています。 SHEPアプローチ自体を短縮する想定はありませんので日数設定自体の変更をご提案いただいて構いません。
19	18	第5条 2. 技術協力作成	EcoSHEPハンドブックは活動1-7の中でEcoSHEPアプローチを改良した結果できるものという理解でよろしいでしょうか。また、SIFSの技術参考資料は活動2-4で作成する、研究分野の間のギャップを特定し、それを記載した文書のことでしょうか。	活動2-4で特定されたギャップと成果5で実施する研究活動、その結果を成果1へフィードバックする想定です。 そのため、Eco-SHEPハンドブック、その中で実施される営農計画策定や技術研修の参考資料としてSIFSの技術参考資料を策定する想定です。
20	19	第7条 機材調達のピックアップトラック	ピックアップトラックは、調達後すぐにPNG側に供与するのでしょうか。あるいは、プロジェクト期間中はプロジェクトに貸与し、プロジェクト終了後にPNG側に供与するのでしょうか。	ピックアップトラックは調達後すぐにPNG側へ供与予定です。
21	24	P24、P35業務人月について	・P24には、「専門家派遣(合計約67 P/M):(チーフアドバイザー/SHEPアプローチ、農業一般、社会経済(ジェンダー分野含む)、業務調整/研修、その他の専門家(必要に応じて派遣))」 ・P35には、「1)業務量の目途 約 72.56 人月」 どちらが正しいのでしょうか。	P35の「1)業務量の目途 約 72.56 人月」を正としてください。

22	24	案件概要表 3.事業概要(7)、2)、③	「NARI及び農業普及サービス関連機関職員の活動経費(東ニューブリテン州での研修参加に係る交通費、行政官の日当・宿泊費、研究活動に係る運営費等)」との記載がございませぬが、見積書においてC/Pの交通費、日当・宿泊費は計上しないという理解でよろしいでしょうか。もし計上する必要がある場合は、PNGのJICA事務所定めるC/Pの交通費、日当・宿泊費の基準をご提示いただけますと幸いです。	質問No.4、No.6、No.15をご確認ください。
23	25	案件概要表(9)環境社会配慮・横断的事項・ジェンダー分類、2)横断的事項	「他国で実施したSHEPアプローチ関連の技プロで障害者特有の事例をガイドラインとして取りまとめたことがあり」とありますが、当該ガイドラインの共有をお願い致します。	配布資料を追加いたしますので、edga1@jica.go.jp までメールにてご照会ください。
24	27	成果5	「成果2及びEco-SHEPアプローチのすべてのプロセスにおいて特定された事項の研究を実施する。」と記載がありますが、「…の研究を支援する」という理解で合ってますでしょうか。	ご理解の通りです。研究機関であるNARIの活動支援を想定しています。
25	35		<p>専門家執務スペースに関連し、下記3点質問がございます。</p> <p>1. NARI Keravat内に提供される専門家用執務スペースにおける水道・電気・ガス等の公共サービスはR/D記載のとおり、NARI Keravat側の負担という理解でよろしいでしょうか。</p> <p>2. 当該事務所には、発電機(ジェネレーター)等の非常用電源設備は既に配置されておりますでしょうか。未配置の場合、プロジェクト側での手配を想定すべきかご教示ください。</p> <p>3. NARI Keravatは、貴機構の基準を満たす十分なセキュリティ体制(施設設備、警備等)が整備されているという理解でよろしいでしょうか。仮に追加的な対応が必要な場合、警備員や警報機等をプロジェクト側で配置する必要があるかご教示ください。</p>	<p>1. NARI Keravat側の負担を予定しています。</p> <p>2. 発電機(ジェネレーター)が配置されています。</p> <p>3. NARI Keravatについては弊機構の安全管理上現状から追加での警備や設備設置の必要はございません。</p>
26	35	(4)対象国の便宜供与	インターネット環境について、「Wi-Fi 無」との情報ですが、インターネット回線自体が未整備なのか、回線(有線接続環境)はあるが Wi-Fi(無線接続環境)が整備されていないのか、どちらでしょうか。有線にしる無線にしる、仮にインターネット回線を追加設置する場合、当該設置費用はプロジェクト負担でしょうか。また、設置後のインターネット月額使用料はプロジェクト負担でしょうか。	インターネット自体は整備されていますが、建物全体にWiFi環境が整備されておらず建物の一部はアクセス不可となっています。WiFiの拡張がローミング等での対応となりますが、当該経費はプロジェクト負担となりますので、必要がありましたら見積りに計上ください。設置費用と月額料金も見積りに含めるようにしてください。
27	38	定額計上について	表内の2と3の実験・圃場機器購入費はどのような機材を想定されていますでしょうか。	土壌関連の分析機器、光合成測定器、測量機器などを想定しています。

以上